

事業評価シート

事務事業名	一時保育事業	担当課名	幼児教育課
総合計画の 主要施策名	児童福祉施設の充実	班名	幼児総務班
		事業コード	3313

事業の目的	保護者の就労形態の多様化、疾病等による緊急保育等の一時的な保育需要に対応し、乳幼児の福祉の増進を図る。			
事業の内容	主に未入園の乳幼児を一時的に保育園で預かり保育する。			
事業の対象	保育の実施の対象とならない、就学前児童			
事業費	年度・区分	平成19年度決算	平成20年度決算	平成21年度予算
	金額	4,901 千円	4,827 千円	5,377 千円

事業の効果等	名称	単位	H19年度実績	H20年度実績	H21年度(予定)
	延べ利用児童数	人	632	1,065	1,000

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている		
判定説明 及び考察	一時保育事業の延べ利用児童数は、増加傾向にあるところである。また、事業実施にあたっては、育児に関する心理的、肉体的負担を軽減するため保護者の多様なニーズを考慮しながらサービス提供しているところであり評価できる。			
事業の 方向性	さらに重点化する 事業の縮小を検討する	現状のまま継続する 休止、廃止を検討する	見直しのうえ継続する	

外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり
------	---	--------	----------